

eBook

Requirements Engineering

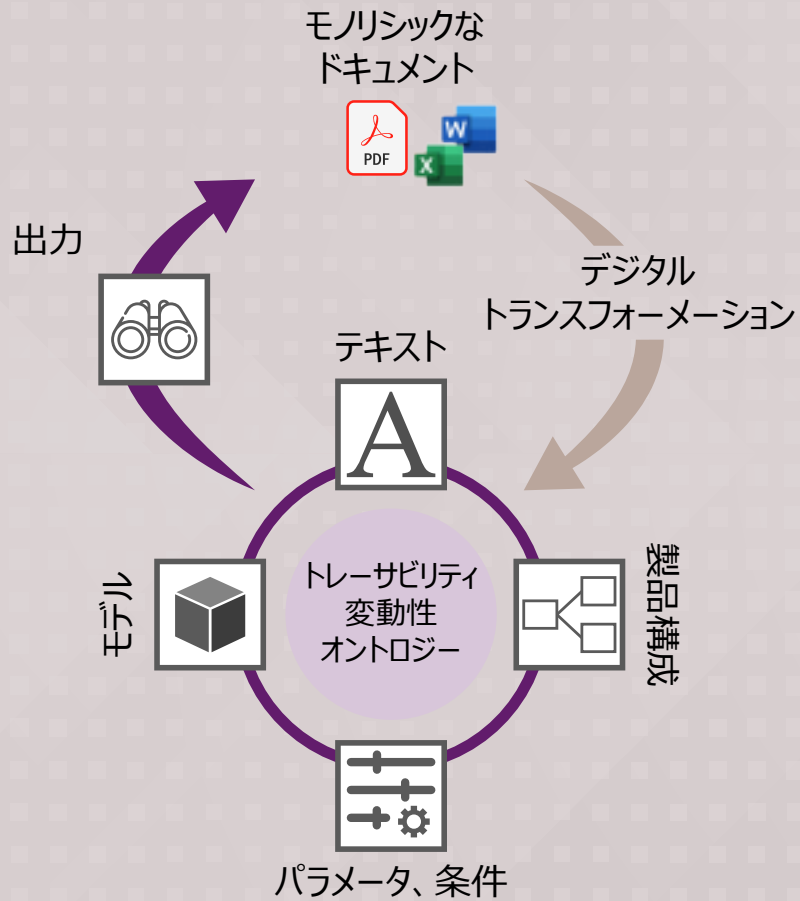
課題の定義と、解決を可能にするソリューション



要件管理は、あらゆる複雑なシステムや製品設計の中心にあります。ますます複雑になっている製品開発において、その中心的な役割を担う要件管理は、以下のよう
な点でますます重要になっています。

- 設計目標の達成
- 契約上の義務の履行
- 設計品質の向上
- 変更が及ぼす影響の軽減
- 市場投入時間の短縮
- 製品コストの削減
- 分野に跨るリワークの削減
- 規制違反のリスクの低減
- 展開中に発生しうる問題の解決





現状

要件管理は、多くの場合は連携されていない独立したスタンドアロンの要件管理ツールで行われ、主に設計の分野ごとにセグメントされています。このため、次のようなことを引き起こす可能性があります：

- 要件間でのトレーサビリティの欠如
- コラボレーションやコーディネーション不足、または欠如

その結果：

- 不具合の発見の遅れ
- 市場投入のタイミングを逃す
- リワーク
- すべての要件を満たさないままの製品が出荷される

課題

ほとんどの企業（83%）は、不十分な要件管理による設計の失敗を経験しています。



製品コストの超過
46%



市場投入のタイミングを逃す
38%



すべての要件を満たさないうまま
製品が出荷される
36%



要件の追跡に過度の時間
36%

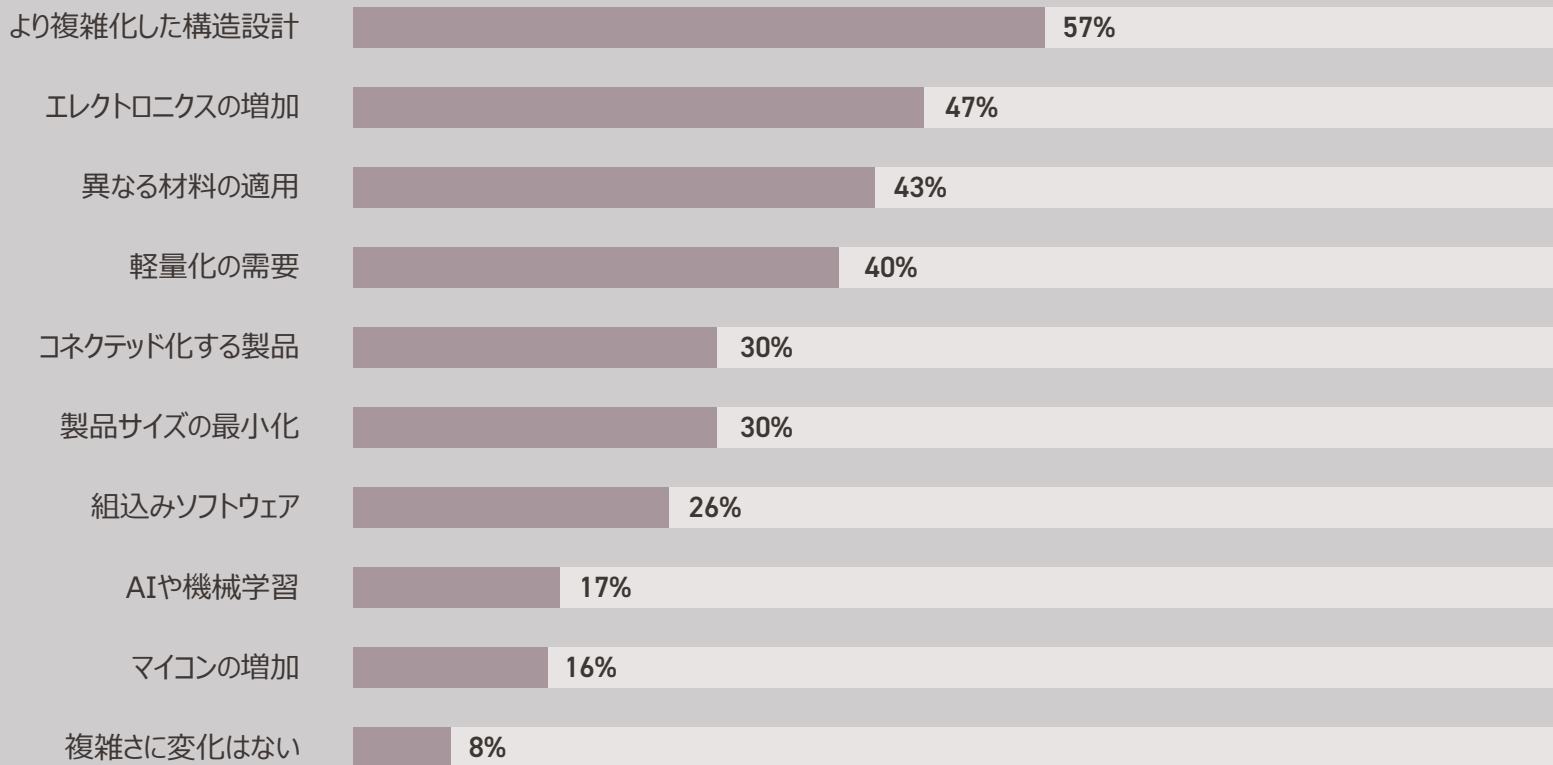


規制や品質要件を満たすことが困難
27%

複雑さ

産業界全体でシステムの複雑さが増しているため、製品構成全体として要件管理のための変革的な技術のニーズが高まっています。

次のデータは、製品の複雑化がどの分野に現れているかのユーザーの視点を表しています。

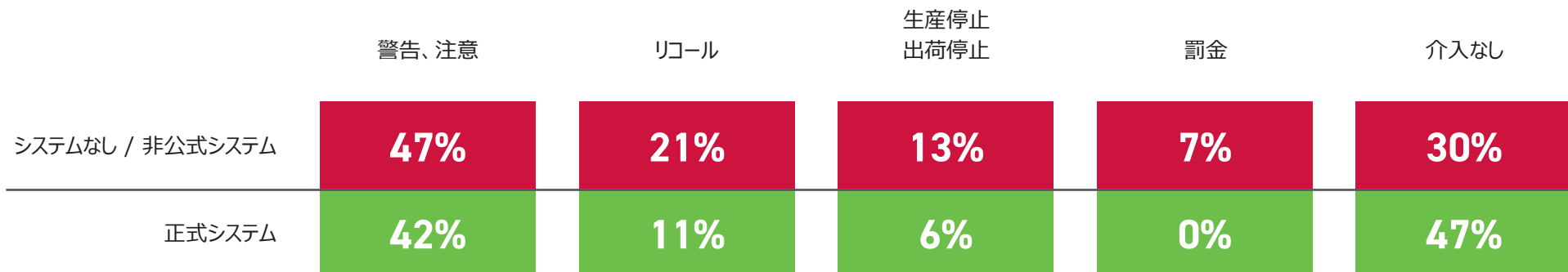


ガバナンス

規制環境は絶えず拡大しているため、関連するコンプライアンスに対する圧力が高まっています。この組合せによって、製品はより複雑になり、イノベーションは減少し市場投入期間は長期化しています。

62% の企業が規制当局から指摘されています*

正式なシステムを使用している企業には、当局による否定的な介入が少ない：



* 出典：(engineering.com "Design Teams Requirements Management & Product Complexity" 2019 Research Report)

Aras の Requirements Engineering (RE) アプリケーションは、テキストと構成（データモデル）の両方の要件コンテンツを管理します。これにより、要件およびそのコンテンツを、ドキュメントやプロジェクト、および製品ライン全体で再利用することが可能になります。

RE は、PLM デジタルスレッドの観点から要件のトレーサビリティを実現します。RE のデータモデルのアプローチにより、製品ライフサイクル全体で要件を定義、管理、および維持できるだけでなく、要件間の関係を認識および管理することもできます。

ソリューション

- Aras がアップグレードをサポートするプラットフォーム上に構築
- 顧客のプロセスや仕組みをサポートできるカスタマイズ性
- レガシーシステムや Microsoft ツールをサポート
- オープン データベースとオープン API による連携
- 要件について PLM 上の権限に基づいたコラボレーションが可能

メリット

- 手戻りが少なく、市場投入時間の短縮が可能
- レガシーシステムの技術的な負債の削減
- コンセプト開発、技術開発、要件開発、仕様策定、解析と設計、加工、テスト、検証、確認、運用/サポートを通じたデジタルスレッドの実現と活用
- タイムリーかつ正確なコンプライアンス レポートの作成

Aras は、産業用デジタルアプリケーションのためのレジリエントな（しなやかな）プラットフォームを提供しています。当社のオープンかつローコードなテクノロジーにより、ますます複雑になっている製品の設計開発、製造、保守等の部門を対象に、柔軟でアップグレード性を備えたソリューションを迅速に提供しています。Aras のプラットフォームおよび製品ライフサイクル管理（PLM）アプリケーションは、製品ライフサイクル全体およびサプライチェーンの、あらゆる部門・部署のユーザーを重要な製品データやプロセスと結びます。米国マサチューセッツ州アンドーバーの本社をはじめ、世界の主要なオフィスから、350 を超えるグローバル顧客と 25 万を超えるユーザーをサポートしています。Aras Innovator プラットフォームは無料でダウンロード可能で、すべてのアプリケーションはアップグレードを含めて単一のサブスクリプション価格でご利用いただけます。川崎重工業、富士フイルム、日立製作所、マイクロソフト、村田製作所、Airbus、Audi、GE、GM などの顧客に採用されています。

Aras Innovator をダウンロード

アラスジャパン合同会社 | 100-0006 | 東京都千代田区有楽町1-1-2 | 東京ミッドタウン日比谷 | 日比谷三井タワー30階
03-5797-7920 | Marketing-japan@aras.com | www.aras.com/ja-jp/

© 2019 Aras. 不許複製・禁無断転載。このドキュメントは情報提供を目的にしたものです。Aras および Aras Innovator は、米国および／またはその他の国々における Aras Corporation およびその子会社、関連会社の登録商標または商標です。その他のすべての社名、ブランド名、製品名、または商標は、各所有者に帰属します。REQ-0596-1908

